



右の如し

昭和二十二年 三月 三十日

獨歩第一隊 第五班

現 歩

長 曹

[Redacted Name]

父

[Redacted Name]

戦死

同上

昭和二十二年 三月 三十日  
パルチザン 戦死

階級 乙 確 甲 確 甲

傷病名

あ

所屬 隊 年 月 日 氏名

本籍 地 町 丁目 番 号

死亡 日 月 日

死 状

死 因

遺 品

遺 状

住 所

[Redacted Address]

昭和二十二年 三月 三十日  
獨歩第一隊 第五班  
衛生伍長

# 死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 石岡

所属部隊 第三平井行場大隊

徵集年

官等級  
氏名

右ノ者昭和二十年六月 日 時

分隊 於テマラリヤニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十二年 月 日

所属部隊

職名 第三平井行場大隊

官等級 陸軍兵 長

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等詳細ヲアルモノハ詳記ス  
二、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

(特等)

2月

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニテ當部ニ於テ公報等處理ニテラサルニ付爲念

所屬部隊 此處以遺 成九七部隊	昭二 六月	死	事 由 砲火ニ依リ 戦死	現役 軍曹	氏 名	本籍 右全ニ
	十五日	死				
	本ノ又由 シライカ オニ渡線	場所 所	由	現役 種	氏 名	本籍 者現任所 地
現任所			由	現役 種	氏 名	本籍 者現任所 地
所屬部隊 此處以遺成九七部隊			由	現役 種	氏 名	本籍 者現任所 地

右現認ス

本件ノ由現認者  
之遺一相

現任所  
所屬部隊  
此處以遺成九七部隊

官等受命印 陸軍曹長

21.2.23 和  
4205 陸  
付受

6-11

1193

第12回

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月十日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而

本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テ公報等處理シテラサルニ付爲念

所屬部隊	死	事由	現役	官等級	氏名	本籍
比島遺遺	昭二	敵砲	現役	曹長	氏名	留居者現住所
威九九七部隊	育	集中砲火	刑突	曹長	氏名	留居者現住所
	十百廿三度線	ニ依リ戦死		曹長	氏名	留居者現住所
					父	右合

右現認ス

現住所

所屬部隊

和 2.23 313号 受

3-11

戰死者由告白書

陸軍憲兵隊

新元三時

本籍 昭和元年六月十日  
昭和元年六月十日  
昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

昭和元年六月十日

死亡事實證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 比島派遣隊 第一〇六八二部隊

(固有名) 第十四軍野戰自動車大修理部

徵集 年昭和十九年上等級 陸軍上等兵

一月十五日 氏名

右の者昭和三十年六月廿午前後 時刻不明

比島多島山に於て陣地戦闘中 砲撃に依り

戦(公)傷死たることを證明する

昭和三十年 六月三十日

現認者

注 意 元分隊長 佐藤 氏名

一死七地點 受傷部位 病名 異動 ありものは詳記す  
一職名 付 特に 戦場 死 者との 関係に 付 詳記す

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 或野田之七部隊 (英軍之七部隊)
- 一、徵集年 昭和二十一年 兵種 衛生兵
- 一、官位(死歿前) 上等兵 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死に二分の一理由 [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和二十一年八月十三日 南洋
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年八月十三日 元所属部隊名 或野田之七部隊

現住所 [Redacted]

元官位級 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナルベクダシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲクソシク告知ラセテ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係

死亡事實證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

通稱號

徵集年

同右

獨立歩兵三百六十二大隊

威一七六〇三部隊

昭一九徵集

右 若 昭和二年六月三日比島本島六丸山ヨリ

糧秣ヲ獲保シ為下山セシ時 殿ニハ脚瓦ヲ肩山ニテ俵シテ下ル

昭二六六一三由ヒ六丸山ニ弟時ニハ既ニ此作ニテラレシテ

死セリマシ 故ニ六二二日脚瓦榮養失調、為 病死セラレシテ

昭和 年 月 日

現住所

調製者

部隊名

職氏名

海軍二三五設営隊

軍辰

52-11



現認事  
 右 姓名 [redacted] 女  
 所屬部隊 第一六六部隊  
 官階 中尉  
 現住 [redacted]  
 昭和二十一年十月二日

59-10

遺族 [redacted]  
 遺族 [redacted]  
 右 相違無事之證明書  
 現認事官 [redacted]  
 現住 [redacted] 第一六六部隊  
 昭和二十一年十月二日

NO

昭和

年

月

日

現 証 明 書

比島関係

世 括 録

現 証 明 書	氏 名	国民
出生地	死亡地	上
死亡年月日	死亡場所	比島
本籍地		中部足守
		マダガス

死亡年月日	死亡場所	比島
死亡原因		戦病
死亡時刻		...
死亡時刻		...
死亡時刻		...

死亡年月日 昭和二十年四月十四日  
死亡時刻 二時...  
死亡時刻 九時...  
死亡時刻 四時...

死亡原因 戦病

死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...

死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...

死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...

死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...  
死亡時刻...

昭和二十年十一月一日

1. 845

1200

押替時不実上業蔵しきり相結し様一明申付候事  
 事と違ふ事候し候事就り初事昨午十一月名古松遺  
 陸軍員録しものなるふ終結時つて所屬隊の責任者  
 として隊員の上死不明は昔調音機復局に提出致し置  
 候事たる處昨午の公報に依り候事実と相違する公報に違  
 じたるは遺家族の方より通報書様し候事たるに就ては遺  
 事たるは遺家族の方より通報書様し候事たるに就ては遺  
 事たるは遺家族の方より通報書様し候事たるに就ては遺  
 事たるは遺家族の方より通報書様し候事たるに就ては遺

階級	氏名	正	副	職	記	事	所属部隊	死因
陸軍中佐		新死	子嗣	甲	六月十五日	無事	陸軍中佐	死

確認責任者

元陸軍少佐

死亡者現狀證明書

昭和二十一年九月

所屬部隊 陸軍省 第十航空情報隊

威一八九一六部隊

本籍地

[Redacted]

徵 原 年 四十五

種 後 子 種

種 飛行兵

上

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

人

死亡年月日時刻 昭和二十一年六月廿日

時

時

[Redacted]

比島呂宋島イ木

死亡區分

戰

死

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

留航公策 52 號 22 年 9 月 13 日

發病處在 自 此 始

外 月 日

[Redacted]

[Redacted]

全身砲彈破片創

留守

現住所

[Redacted]

遺孀

續 柄

母

氏 名

[Redacted]

遺骨返還品の有無

十

[Redacted]

有

現

所屬部隊 陸軍省 第十航空情報隊

威一八九一六部隊

現

官 官 級 陸軍兵長

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

現

上陸年月日時刻 昭和二十一年十一月三日

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

現

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

No.						
課長	總務長	調查長	死亡委員	死亡主任	未屆期	兵籍
					照合済 届ナシ	照合済 ナシ

## 死亡者現認證明書

本籍地	所屬部隊	固有名	通稱號	死亡前死亡後	死亡年月日時		死亡區分	遺棄、遺留品ノ有無	現住所	擔當者	現認者	官等級	上陸年月日	上陸地名	及所見	
					年	月日時									種役	種兵
昭和三十九年六月	陸軍第一六六小隊	德生 健一	第一六六小隊	一等兵	昭和三十九年六月	十九日	病死	無	昭和三十九年六月十九日	父 健一	德生 健一	上等兵	昭和三十九年六月十九日	大竹	德生 健一	德生 健一

24-12

現認證明書

10.12

現本 住籍 現地 **[REDACTED]**

氏名 **[REDACTED]** 日生

所屬部隊 第五飛行場大隊

官等級 陸軍中士

徵集役種 陸軍中士 徵集補充兵 徵集飛行兵

死亡年月日 昭和二十一年六月十四日

死亡場所 比島川之島名加支州工支了 有飛行場北方

死亡區分 戰病死

死亡事由 因病發病 昭和十九年十月十日 熱帶之也

現認事 感風寒之遂 今年六月十四日 死之

遺骨 有無 有

遺族現住所續柄 氏名 **[REDACTED]**

右相違無可重了之證明書

現認者官等級 陸軍中士

昭和二十一年十月一日 所屬部隊 第五飛行場大隊 陸軍中士

現住所 **[REDACTED]**

第18部(新編)訂

或 戶 部 改

漢

書

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

戰

20.6.14

06.00

漢書

通鑑

書

漢

書

21-17



本籍地

一等兵

新編部隊固有名称 第五四旅團独立歩兵第三六六大隊

通稱號 威一七六一部隊

右は昭和二十二年三月一日より戦斗開始後機関銃班小銃手として歩中足部隊貫通銃創を受け以後部隊行進不可能となり部隊追進中米軍陸兵と激戦中胸部貫通銃創を受け「シンダオ」島「シラワイ」町東南約十五軒の地奥にて(昭和二十二年三月)戦死した

死体は同地奥に埋葬した

威第一七六一部隊

一等兵

陸軍



現認證明書

地方世話部

死者	所屬部隊	被隊に四旅三兵隊 (蘇七十八〇八)	
	本籍地	[Redacted]	
亡	死亡年月日時	昭和20年6月14日	時分
	死亡場所	ミンガロ島 [Redacted]	
者	死亡原因	脚氣兼深着炎	
	留守宅住所氏名	[Redacted]	
死者と関係	種・役	補兵	前死階級
	後死階級	[Redacted]	
死者と関係		戦友	
死者と関係		戦友	

右現認證明致します

昭和二十一年三月十八日

現認者	本籍	現住所	所屬部隊	官署名
[Redacted]	本籍	本籍	被隊に四旅三兵隊	陸軍陸軍上等兵

北軍軍醫部

●●●● [Redacted]			
●●●● 國有名 [Redacted] 陸軍少佐 [Redacted] 勲章			
●●●● (年)	位 種	兵 種	死亡前官階級 (生 年 月 日) 氏 名
昭和一五	二神	衛生隊	安長 [Redacted] 年 月 日
●●●●	守 任 所	[Redacted]	
●●●●	籍 貫	姓 名	[Redacted]
●●●●	昭和三年 六月 十日	死亡區分	戦死
●●●●	死亡場所	北部山	
●●●●	遺留品	[Redacted]	
昭和三年六月十日 北部山 戦死			

50-18

取附の通りお尋ねなさいとを説明する。

昭和五年三月十日

●●●● [Redacted]  
 ●●●● [Redacted]  
 ●●●● [Redacted] 右同  
 ●●●● [Redacted] 陸軍病院 [Redacted]  
 ●●●● [Redacted] 陸軍軍兵 [Redacted]

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱等) 成美( ) 九師隊
- 二、徵集年 昭十二年 役種 歩兵 階級 中尉
- 三、官制(死歿前) 一等兵 (死歿後)
- 四、氏名 [Redacted]
- 五、死歿場所 中前( ) 附近
- 六、死亡原因(事由) 砲撃 左大腿部貫通死
- 七、死歿年月日時 昭和 年 月 日 時 分
- 八、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted] 祖父 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名

成美( ) 九師隊

現住所

[Redacted]

元官制

一等兵

印

脱後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ

クツシテ告知ラセテ下サイ

宛先

地方世話部 申係

宛先

證明書

現本

現將

地

[Redacted]

右

[Redacted]

新屬部  
官等級

敬  
修養名費

徵

神

死亡年月日

昭和三年十月十日

死亡場所

山一屬南白雲州

死亡區分

死

死亡事由

病發

現認事

右

遺骨の有無

遺骨の有無

遺骨の有無

現認者官等級

現所屬部隊

昭和三年十月十日

死亡證明書

氏名 性別 年齢 職業

1 死没者の本籍地、留守擔當者  
籍約氏名

2 死没者の所属部隊、死亡當時  
の官等、姓名  
（氏名には「フリカナ」を父  
官等の横に進級年月日を記載  
された例）例「昭18.12.1」

3 死亡年月日時  
（記憶が確実でないときはその  
旨附記すること）

4 死亡場所（成るべく詳細に）

5 死没の原因  
1 戦死の場合は何れによつて何  
處を襲撃したか  
2 戦時中の場合は何時、何れに  
よつて何處を襲撃し、その後  
何處病院に入院し、何處で死  
したか

所属部隊 1 備有名  
2 通稱  
戦死認定  
文

1 所属部隊 (1 備有名 戦立有線隊百二十五号隊  
2 通稱 成牙三九七の部隊)

2 官等姓名 一等兵  
(昭和19.12.1)

昭和二十一年六月十八日  
戦死認定  
比島ルン島イオラ州「カバヤギ」

本人は中隊と共に行初とら新カワの米軍の掃蕩  
行動に「カバヤギ」方面の河川に在る（戦死認定）  
の目的を遂行し、前進中他部隊と共に行  
隊河を貫行し、  
（戦死認定）  
大洗航路に...

6. 死亡時本人の意思を  
具体的に

7. 遺言、遺言品について知つて  
居る事項

8. 死亡時本人の意思を  
服して居つたか

9. 死亡者と自分とはどんな關係に  
あつたか

遺言、遺言品について知つて居る事項

死亡時本人の意思を具体的に服して居つたか

死亡者と自分とはどんな關係にあつたか

右相違をいふことを要する

昭和二十二年 月 日

住所

元所屬部隊官署名

元陸軍准尉

昭和二十年三月十日

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月十日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

所屬部隊	死	時日	場所	事由	特志	氏名	本籍
比叡遺 辰九九七部隊	昭加 二月 六月 十五日	ネグロス島 シライム中 三軒屋	迫果砲ノ東 中火ニ依リ 戦死ス	特志 飛空兵 中尉	右全ジ	右全ジ	留學中當者現任所 姓名

右現認ス

現任所

所屬部隊比叡遺  
辰九九七部隊



現 認 証

本籍地

部隊名

官等兵名

昭和三十二年六月十五日

車馬

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

死亡理由

現 認 証

昭和三十二年六月十五日

比島 不入口云云

戦病死

中より及脚差

本籍地

部隊名

官等兵名

昭和三十二年六月十五日

陸軍中長



# 戦時死亡者現認證明書

所属部隊	威 18913 (通)
死	兼 22 戦隊 (四)
亡	昭和二十二年十月十日
場所	ルン島 オリオン 塔下
原因	戦死
外遺	(品留遺)
兵種	大 砲
役種	現 役
前死	前 任
後死	後 任
氏名	氏名
生年月日	生年月日
本籍	本籍
留守	留守
現住所	現住所

右現認す

昭和二十二年十月十日

現住所

所属部隊 辰八(三)新隊

官等級氏名 陸軍中佐

上陸地名 島

上陸地支局に於て連絡済否

上陸月日 昭和二十二年十二月二十二日

國體上の注意  
 一、所属部隊は通稱別行部隊名をも列明程度に記入のこと  
 二、死亡個は山來得る限り詳細に特に本山 傷病名 發病(受傷)入院年月日及臨終院名及其の他参考資料併せ記入のこと、印非多き場合は附添添付記入のこと  
 三、遺骨(遺留品)類は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守宅等)記入のこと  
 四、印を忘れぬこと  
 五、同一人に対し二部開票のこと

展	履
年月日	年月日
事由	事由
年月日	年月日
事由	事由
年月日	年月日
事由	事由
年月日	年月日
事由	事由
年月日	年月日
事由	事由

42-12

# 戦時死亡者現認証明書

昭和 年 月 日		右現認す	
所属部隊 歳18913(通) 残り22戦隊		死亡年月日 昭和20年6月15日	
場所 オリサ島		死因 戦死	
階級 大尉		現住所 [Redacted]	
官等級氏名 [Redacted]		官等級氏名 [Redacted]	
上陸地名 [Redacted]		上陸地名 [Redacted]	
上陸地支局に於て連絡済や否や [Redacted]		上陸月日 昭和20年6月15日	
氏名 [Redacted]		本籍地 [Redacted]	
生年月日 [Redacted]		留守担当者現住所 [Redacted]	
[Redacted]		[Redacted]	

四、五、の注意  
 一、所属部隊は通稱固有部隊名を以て明記し、加入の事  
 二、死亡は出陣後、限り詳細に特に事由(傷病、疾病、受傷)入院年月日入院病院名及其他参考資料併せ記入のこと、其事多き場合は附録添付記入のこと  
 三、遺骨(遺留品)欄は有無ある場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守宅等)記入のこと  
 四、認印を忘れぬこと  
 五、同一人に対し二部調製のこと

履		歴	
年	月	日	事
昭和	20	6	15
入營、遺骨	池田渡	池上陸	自昭 昭和
勤務の概況			
入隊以後の進級階級			